

令和2年度 富山県高等学校体育連盟 陸上競技専門部 第1回記録会 大会要項

主催 富山県高等学校体育連盟陸上競技専門部・(一財)富山陸上競技協会
主管 富山県高等学校体育連盟陸上競技専門部・(一財)富山陸上競技協会

1期 日 令和2年4月18日(土)

2会 場 富山県総合運動公園富山県陸上競技場(富山市南中田368) 076-429-8835

3競技種目 男子 14種目 (投擲競技は投擲物の重さで分ける)
100m, 200m, 400m, 800m, 110mH, 400mH
走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投
女子 14種目
100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 400mH
走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投

4競技日程 締切後アスリートランキングに掲載 9:30開始予定

5競技規則 2020年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による

6参加資格 県内高校生及び一般選手。高校生は、富山県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録していること。一般選手は、公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。

7参加制限 参加種目数の制限はなし

8参加申込 (1) アスリートランキングドットコムホームページにて、参加申込書を作成すること。
入力締切: 令和2年4月10日(金) 郵送・FAXでの申込は不可
(2) 受付時に参加申込書を提出すること。押印に関してはコピー不可。

9参加料 1種目: 400円
*参加料にはアスリートランキング情報料50円を含みます。(受付時に支払うこと)

10役員打合せ 4月18日 8:30~ 会議室1AB (各校顧問1名以上の参加)

11連絡事項 (1) 円盤投 ハンマー投については補助競技場で実施する。
※やり投において光波距離計の使用法講習会を行う
(2) ナンバーカードは富山陸上競技協会より登録競技者に割り当てられたナンバーを使用すること。県外登録選手については所属陸協のナンバーカードを各自で用意すること。
(3) 本競技場の開場時間は7:30とし、受付はロビーにて8:00から行う。
(4) 練習は雨天走路・補助競技場のみ、特に投てき練習については安全に注意すること。
(5) 引率責任者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
(6) 改修工事の進捗状況により、競技時間や競技場所を変更する場合がある。

12問合せ先 〒933-8520 高岡市中川園町1-1 高岡高等学校内 越後俊朗 宛
TEL 0766-22-0166 FAX 0766-26-3054
※問い合わせは、午前9時~午後3時迄とする(日・祭日は除く)

選手注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2019年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は現地とする。トラック種目はスタート付近にて競技開始20分前に1組から順次行う。フィールド種目は30分前とする。係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。
- (3) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (4) ナンバーカードはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- (6) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。(ただし、状況により変更することがある)

走高跳	男子	練習 1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	以後 3cm 刻み
	女子	練習 1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後 3cm 刻み	
棒高跳	男子	練習 2m90 3m60 4m00	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	以後 10cm 刻み	
	女子	練習 1m90 2m50 3m00	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以後 10cm 刻み	

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする

- (7) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (8) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (9) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持または使用することはできない。

2 その他

- (1) 参加校は定められた人数の補助員を出すこと。また、1名以上の顧問を役員として協力すること。
- (2) 参加校は当日の準備・片付けに協力すること。ゴミは各校で持ち帰ること。
- (3) 大会中のけがについては各自で対処すること。
- (4) 各校補助員は、8:30に集合場所(本部前グラウンド)に集まり、補助員係の指示を受けること。
- (5) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (6) 写真・ビデオなどの撮影については各学校でビブス等の準備をし、着用すること。
- (7) 競技に支障のあるような応援はしないこと。特にフィールド競技試技中の集団応援は、サイド、バックスタンドの2階席スタンドで行うこと。メインスタンドでの集団応援、およびメインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。